

支え合う元気な地域づくり(大洲市)

【取組概要】

廃校施設を地域の交流拠点として、特産品開発・販売、都市住民との交流、生活支援サービス、産業の振興など、失われつつある活気を取り戻すべく、持続可能な地域活性化事業を目指す。

人口 46,609人

担当部署 櫛生連絡所

【取組みの効果】

廃校校舎を交流拠点とすることで、地域から失われつつあった活力を再びもたらす重要な施設へと生まれ変わった。自らの地域をどうすべきか、そのアイデアが形になっていくことで、一層積極的・自発的な活動への参画が生まれた。



ピザの生地作り(オープニングイベントにて)

【他団体へのアドバイス】

参画するメンバーの熱意と、その他の地域住民の理解あってこそ実現できるものであり、その調整こそが行政(公民館)側に最も求められるということを常に念頭に置いて事業に当たることが重要。

【創意・工夫した点】

地域を良くしたいという思いは共通であっても、個別の事業に対しての思いは人によって様々であるため、温度差とモチベーションの調整を気にかけた。



周知ポスター(地元の方の手書きによる)